

## おとうさんも楽しめる子育てグッズの会社 ダッドウェイ

ベビーグッズやペット用品を販売している、ダッドウェイの本社(新横浜)に取材に行きました。ダッドウェイという会社の名前は、DADは「お父さん」、WAYは「やり方」「道」という意味で、アウトドア好きの現在の社長さんが、はじめてパパになったとき、「お父さんの子育てをもっと面白く、楽しくしたい」と思い、お父さんが使ってもおかしくないデザインの子育てグッズを扱う会社を作ったのが始まりです。



すてきなデザインの会議室で、ダッドウェイの代表的な商品をみせてもらいました。「スマリーフェイス・ラトル」というおもちゃは、ミリオンセラーになった人気のおもちゃだそうです。このおもちゃは赤ちゃんにとっていろいろな工夫がされています。たとえば、視力があり無い赤ちゃんにとって分かりやすい赤や黒などの色を使っています。ビーズが中に入っていて、音も鳴ります。一つ一つのおもちゃやグッズには、可愛いだけでなく工夫がいっぱいありました。赤ちゃんと、そのお母さん、お父さんのことを第一に考えている商品だと思いました。

1Fのショールーム/ショップには、カラフルなデザインの傘や、ディズニーのかわいいデザインの木の積み木などがあり、わくわくするショップでした。

おもちゃを作ったり考えたりする人は、何か伝えたいことがあって、その思いが商品の中にたくさんつまっている、ということを知りました。(2016.7.22)

## 会社の中にリゾート地があった! オンワード総合研究所

オンワード総合研究所は、アパレル大手のオンワードホールディングスの研究所として、1991年3月都筑区(当時は港北区)に建てられました。洋服の生地の耐久試験や、シミや破れなどを検証するための検査などを行ったり、生地に関するいろいろな試験をおこなっていました。繊維を観るためにマイクロスコープなどもありました。

研修センターとしてつくられた建物には、大小の会議室、ホール、200人が食事できる大きなレストラン、25mの温水プールやフィットネースタジオ、77室の宿泊施設もあり、リゾート地にいるようなすばらしい施設です。レストランでは、都筑区で採れた野菜を使ったり、季節によりバーベキューを行ったりと、お客様を楽しませる工夫をしています。



区長の仕事の中で大切に思っていることは、「区民の安全を守ること」です。防災に関する仕事もたくさんあり、地域に住んでいる人たちと防災訓練をしたり、土砂災害が起きないように区内を点検したりします。また、災害が起きた時には、区内の中学生に、小さい子の無事を確認してもらっているところがあるということも聞きました。防災訓練は、年に1回、地震で人がけがした時のために、ドクターと看護師たちと一緒に訓練しています。また、都筑区に2つある大きな川が増水して洪水になった時の訓練や、区には「崖」とよばれるところが300以上あります。警報が出たときに近くにいる人たちが避難できるような訓練も行います。ボランティアさんと避難所の食事などを作る訓練もするそうです。

今まで区長さんや区長さんの仕事のことは全然知りませんでしたが、

最後まで優しくわかりやすく話してもらって、区長さんのことがとてもよくわかりました。区民のためにいろいろ考えてくれている区長さんがいる都筑区は、安心して暮らせるまちだと思います。(2016.7.29)

## ユニークすぎるタクシー会社 三和交通

「心靈スポット巡礼ツアー」「流鏑馬(やぶさめ)タクシー」。これらは、タクシーの常識にとらわれないユニークな会社、三和交通が考案したイベントです。「いつも都筑区の色々な所に行っている、とホームページでみたのですが、そこでどんな事をしているんですか?」と聞くと、行事の準備をがんばってくれる人に礼をしたり、来場者の前で挨拶をしたり、区民のみなさんの区に関するさまざまな要望やお話を直接聞いたりしているそうです。

タクシードライバーは、朝の6時から夜の2時まで、自分のペースでお休みをとりながら働き、その後1日休みを取る、というスタイルで普通の会社とはまったく違います。

1人1日に平均250~300kmは走り、1年間で約10万kmも走るそうです。

実際にタクシーに乗せてもらいました。

三和交通のタクシーの車内ではマスク、折り畳みの傘、三和交通オリジナルの水のペットボトルも売っています。それらもお客様へのサービスを考えて販売するようになりました。車内に「ゆっくり」というボタンがあるのですが、そのようにきめ細やかなサービスを提供しています。



まるで会社の中にリゾート地があるようで、楽しみながら仕事もできる、すばらしい施設でした。レストランや宿泊施設は予約すれば誰でも利用できるうえで、一度利用してみたいと思いました。ドラマやCMを見るときに、オンワード総合研究所が使われていないか、気をつけてみてみようと思いました。

今まで区長さんや区長さんの仕事のことは全然知りませんでしたが、

「心靈スポット巡礼ツアー」は全国的に有名になり、遠くからのお客様もあるそうです。「流鏑馬(やぶさめ)タクシー」とは、馬に乗って走りながら矢での射的を射る、伝統的な行事をタクシーで再現したもので、車窓からの矢を狙うゲームを考えました。当るのは矢ではなくスポンジなので、子どもから大人まで、多くの参加者がこのイベントに参加し、点数を競いました。

三和交通は、「地域で一番やさし

いタクシー」をモットーにしています。これからも、もっと楽しいタクシー会社になってほしいと思いました。(2016.8.9)

## 都筑区発、世界に星空を届ける 大平技研を取材しました!



社長さんの大平さんは、川崎市青少年科学館に通い、学芸員さんと仲良くなつて、プラネタリウムのしくみを教えてもらい、すぐに小学生で自分で設計図を書き、段ボールに穴を開け、ピンホール式プラネタリウムをつくりました。大学では機械工学を専攻し、学園祭で自作のプラネタリウムを展示しました。その後、木造建築専門で、設計と施工を一貫して行う会社です。川向町にも会社があり、会社全体で72人の社員がいます。毎年200件くらいの家を建てていて、今までに2000件くらいの家を建てました。リフォームも行っています。



ハウスワンは、地域の中に溶け込みたいと、地域と連携するさまざまなイベントに参加しています。そのひとつ、毎年秋に行われる「タウン

大平さんの書いた本は「星に願いを~7歳間で生まれた410万の星~」というタイトルのテレビドラマになり、大平さんの役は、室本剛さんが演じました。実際に実験室で投影しているプラネタリウムの操作の体験をさせてもらいました。(2016.8.17)

## 地域密着の家づくりをする ハウスワンを取材!

センター南駅から徒歩5分ほどの通りに面した場所にハウスワン株式会社がありました。入り口を入ると、とっても明るくおしゃれな空間が広がっていました。木造建築専門で、設計と施工を一貫して行う会社です。川向町にも会社があり、会社全体で72人の社員がいます。毎年200件くらいの家を建てていて、今までに2000件くらいの家を建てました。リフォームも行っています。



ハウスワンは、地域の中に溶け込みたいと、地域と連携するさまざまなイベントに参加しています。そのひとつ、毎年秋に行われる「タウン

センター子育て地蔵まつり」では、「ものづくりの楽しさをこどもたちに伝えたい」と、木造建築の枠組みを建てる体験の場を無償で提供しています。あつという間に予約でいっぱいになる、子ども達に大人気の体験イベントです。また、FMサークルにハウスワンプレゼンツ・ヒューマントークボックスという番組を持ち、「地域の繋がり」をキーワードに、地元にゆかりのある方々をゲストに迎え、毎週日曜にFMサークル84.1MHzで生放送中です。ハウスワンでは、みなさんが楽しそうにお仕事をしていました。設計図を見せてもらい、私たちも家を作つてみたいと思いました。(2016.8.22)

太陽光パネルが展示してありました。こんなに間近でみたことはなかったので、太陽光パネルにもいろいろな種類があるのだと思いました。太陽光パネル1個あたりの1時間につくられる電気の量は季節や日照条件などによって変わりますが、約200~300W/1枚だそうです。横浜環境デザインが持っている自社発電所の電気量で、大きな面積では2メガの電気量がつくれます。



多くの人達が太陽光発電に関心をもってほしい、という想いから、1年間で最も長い時間が長い6月の「夏至の日」を「太陽光発電の日」として2011年に記念日登録しました。エコな社会を目指してこれからも頑張って欲しいと思いました。

地域を盛り上げたいと、地元の球団「横浜DeNAベイスターズ」の公式スポンサーとして、応援もしていて、横浜を盛り上げるために一役買っています。(2016.8.23)



## 未来へ続くエネルギーを創る 横浜環境デザイン

「次世代のこどもたちに、いつまでもこのままの地球を残したい」「そのため持続可能なエネルギー社会をつくりたい」という強い想いから、19年前に「横浜環境デザイン」は生まれました。現在は自然エネルギーをテーマに、主に4つの事業を行っています。1. 太陽光パネルの販売、2. 太陽光パネルの設置、3. 太陽光パネルのメンテナンス、4. 野菜工場の運営です。

新横浜のオフィスに入るとまず、

## おうちCO-OP 横浜北部センターを取材しました!

給食カレンダーに広告が載っているおうちCO-OP。その、おうちCO-OP横浜北部センターを取材しました。ここは、登録している方からの注文の品物が集まるセンターで、1台のトラックに約90件くらいのお届けの品物を大切に箱にいれて、間違いのないように積み込み、ここから配達に出発します。



センターはとても広く、200人以上の人が働いていて、そこは、きびきびした空気で満たされていました。ちょうど朝礼をしているところを見学できました。みんなで体をほぐすため



れています。カタログをみると本当にあります。まるで、おうちに大きなスーパーがやってきたかのようです。家で注文用紙に記入して、

ドライバーさんに渡すと、次の週には品物が届くしくみです。

商品を安全に届けるための工夫として、もしも留守で直接手渡しができないような場合には、冷蔵冷凍しなくてはならないものには保冷剤をしっかり入れて、商品に直射日光が当たらないようにカバーをかけ、シールでとめ、他の人に開封されないような工夫もしています。おうちCO-OPでの1番人気は「たこ焼き」だそうで、食べてみたいなと思いました。(2016.11.23)

広告

## 読売中高生新聞

毎週金曜日発行  
月額780円(税込)  
タブロイド判24ページ オールカラー

中学生と高校生に役立つ情報が満載の週刊新聞「読売中高生新聞」は、時事問題や国内外のニュースをわかりやすく解説します。

学校生活、スポーツ、ファッショングの最新情報をはじめ、英語学習や将来の就職活動に役立つ知識が盛りだくさん。

またスマートフォン専用アプリを使った双方のサービスも注目です。ぜひご覧ください。

申し込みは 0120-4343-81 または最寄りのY(読売新聞販売店)へ

広告

## 読売KoDoM新闻

よみうりこどもしんぶん

毎週木曜日発行 月ぎめ 500円

- ①新聞に親しむ習慣作り  
★写真いっぱいのレイアウト
- ②オールカラー20ページ  
★めぐりやすいタブロイド判
- ③楽しい学習まんが  
★主人公は小学生です!!
- ④1週間のニュースがわかる  
★時事ワードを切り抜こう
- ⑤あの「小学館」とコラボ  
★大手学習塾「四谷大塚」のページも
- ⑥役立つ英会話のページ  
★小学生にイチから教えます

広告

## 港北ニュータウンと共に21年!

当店は港北ニュータウン地区で最初に開店した地域密着の酒屋で、お米をはじめ、和洋酒、灯油など、取り扱い全品を都筑区、青葉区全域及び周辺地域まで無料配達しています。

美味しいお米をお届けする「うちの」だから長く、長く、皆さまに愛されて参りました。これからも、美味しいお米をお届けし続けます。

**0120-02-1122**

都筑区・青葉区全域、周辺地域配達無料(日曜日定休)

## おうちCO-OP 生協の宅配利用者数 年内No.1

あなたにまっすぐ。  
おうちCO-OPは、楽しむ子育てを応援します!

小さなお子さんを連れてのお買物は本当にたいへん。おうちCO-OPなら、重たいものも週1回玄関先までお届けします。

**0120-123-581** おうちコープ | 検索

## おうちCO-OP 生協の宅配

雨が続いたらお天気が悪いとお買物も行きづらいので、「おうちCO-OPを購入しておいてよかった~」と思うことが多いです。重たいものなど玄関前まで届けてくれるので、本当に助かっています。

小さなお子さんを連れてのお買物は本当にたいへん。おうちCO-OPなら、重たいものも週1回玄関先までお届けします。

**0120-123-581** おうちコープ | 検索